



観光地の交通アクセスの改善と周遊性の向上を

稲留 誠也 議員

問 令和7年4月から本格運行が開始した「霧島神宮アクセスバス」などの現状と課題をどう認識しているか。

答 令和7年4月から11月までの利用者は5379人であった。災害等で利用者が減少した時期もあったが、現在は増加傾向にある。一方で民間路線バスの減便等が続く中、鹿児島空港やJR主要駅から観光地への二次アクセスを確保し、観光客の利便性を高めることなどに課題があると考えている。



観光客で賑わう霧島神宮

観光客に対して迅速かつ適切な情報発信を

問 観光情報の発信ツールとして「多言語AI



詳しくは「ちやうで



外国人住民との安定した調和維持を

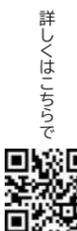
植山 太介 議員

問 ごみ出しについての問題があると聞く、特に新年度が始まる4月が顕著と聞くが、さらなる改善対策に取り組めないか。

答 現在、取組状況を地区自治公民館長・自治会長会資料へ掲載することや自治公民館連絡協議会等の研修テーマとして取り上げるなど、自治会等との連携強化について検討を進めている。これらの検討も踏まえ、より効果的な周知ができるよう取り組む。

8・8豪雨災害を教訓に

問 総合的な検証と対策が急務だと思うが、今後のスケジュールはどうか。



詳しくは「ちやうで



ユニバーサルツーリズムの促進を

竹下 智行 議員

問 効果的に発信するために、プロモーション戦略を展開していく考えはないか。

答 国は「観光立国推進基本法」の中で、今後、増加が見込まれる高齢者等の旅行需要を喚起するため、ニーズを的確に把握し、誰もが気兼ねなく参加できる旅行、ユニバーサルツーリズムの普及と定着を目指している。県においても環境整備を「鹿児島県観光振興基本方針」を施策の一つとして位置づけている。

本市も県や先進自治体を参考に、ユニバーサルツーリズムの推進について検討していく。



バリアフリーの家族湯

心なご納税の魅力な返礼品開発を



詳しくは「ちやうで



中小事業者への物価高に対する支援を

久木田 大和 議員

問 中小事業者のコロナ禍以降の状況はどうか。また、値上げに踏み切れない事業者に対し、販売促進や価値向上に取り組むための支援策は考えられないか。

答 当該路線は鹿児島県交通渋滞対策協議会による主要渋滞区間であり、対策の必要性は十分に認識している。管理する県に対し、要望活動を継続するとともに補完するバイパスや既存道路の拡幅を進めていく。



市街地の渋滞状況

抜本的渋滞対策に向けた片側2車線化の検討を

問 北永野田小浜線の単人町見次交差点から国分川跡交差点までの2車線



詳しくは「ちやうで



一人暮らし高齢者への支援を

前島 広紀 議員

問 高齢者の生活を支援する本市の政策はどうか。

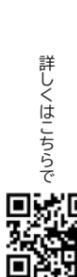
答 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実政策として、民生委員による見守り活動、緊急通報装置整備事業や、高齢者等ごみ戸別収集事業などで、高齢者の生活環境を支援している。そのほか、食事の確保が困難かつ日常的な見守りが必要な高齢者等に対して配食・見守りを行う地域生活配食事業を行っている。



ごみの戸別収集

問 ごみ出し支援についてはどうか。

答 要介護認定区分が要支援1・2の認定者等を対象としたごみ出し等の



詳しくは「ちやうで